令和８年８月定例月議会の報告について

四日市市議会提言チェックシート

～令和８年２月定例月議会後の進捗状況について～

（令和８年８月定例月議会　決算常任委員会）

Ｎｏ．３

事業名	現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について	
事業概要	図書館においては、市民、地域に役立つ図書館を目指し、子どもから高齢者、また多様な興味や関心を持つ人たちのニーズに対応できるよう、幅広く豊富な蔵書や資料の充実に努めた。また、令和７年２月の図書館情報システムの更新に合わせ、新たにＩＣタグによる図書管理を開始し、利用者サービスの向上を図った。図書館への来館が困難な方等へのアウトリーチサービスについては、令和５年度に開始した「よっかいち電子図書館」サービスの利用拡大に努めるとともに、老朽化した移動図書館車「かもめ号」を更新し、図書館サービスを地域に届けられるよう努めた。	
	決算額	図書資料整備費　34,444,709 円 人権啓発拠点推進事業費　860,376 円 図書館維持管理費　50,643,230 円 移動図書館運営費　33,846,238 円 図書管理システム運営費　83,731,745 円 電子図書館運営費　14,886,385 円

次年度予算への提言

＜提言＞　現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について

新図書館へ移行するまでの間、現図書館が市民に親しまれる利便性の高い施設であり続けられるよう、新図書館での活用も踏まえたソフト面での積極的な投資に加え、ハード面についても費用対効果を考慮して市民の利便性向上に資する整備を行えるよう、予算を十分に確保すること。

※参考　事業実施に関する意見　⑤その他（事業の継続的な実施）

【当初予算案への反映状況　／　理事者からの報告】

【図書館】

新図書館の整備を進める中、現図書館では、令和５年 10 月に開始した「よっかいち電子図書館」、令和７年２月に導入した IC タグによる図書管理など、より多くの読書機会の提供及び利用者の利便性向上のため、新図書館移行後も活用できるソフト面での積極的な投資を行ってきた。

一方、現図書館の施設・設備のハード面においては、新図書館の整備を進めていることもあり、近年は機能維持のための修繕を中心に実施してきた。しかしながら、近年の社会情勢の変化や利用者ニーズの多様化を踏まえ、新図書館へ移行するまでの間にも、市民に親しまれる図書館であり続けられるよう利用者の利便性向上に資する整備を行う。整備に要する期間や費用対効果を考慮し、令和８年度では授乳ブース

の設置、多目的トイレへのおむつ台設置などを実施する。

【令和８年度当初予算】

・図書館維持管理費（利便性向上に資する経費）５，６００千円（前年度予算：２，５００千円）

内訳　授乳ブースの設置　８４６千円

多目的トイレへのおむつ台設置　３６０千円

視覚障害者閲覧用パソコン更新　３９４千円

突発的な不具合対応のための施設修繕　４，０００千円

・債務負担行為　図書館授乳ブースリース　限度額　２，５３８千円

期　間　令和８年度から令和１１年度まで

【当初予算案への反映状況　／　分科会での確認】

１．主な議論の内容　**（Ｑ．：質疑　Ａ．：答弁）**

Ｑ．図書館維持管理費について、突発的な不具合対応として予算計上されているが、図書館も個別計画に基づいて積み上げて予算化しているはずであり、植栽の剪定なども含めて事前に想定できる予算として計上できるのではないか。

Ａ．植栽の剪定については、電線や水路への影響などから、急な対応が求められる場面もあった。また、消防設備や照明の修繕など予防保全が難しいものもあり、限られた予算内で優先順位をつけて対応するための費用として積算した。

（意見）現図書館を大切にすることが図書館としての使命を次に伝えることにつながっていくと考える。新図書館に移行するまでの間、課題意識を持ち、今の図書館を市民の財産として大切にしていく姿勢を維持してほしい。

Ｑ．当然行うべき維持管理の部分に新たに予算をつける必要があることに違和感があるが、この修繕予算がなければどう対応していたのか。

Ａ．授乳ブースや多目的トイレのおむつ台整備などは別で予算化している。日常的な修繕費は令和６年度の 150 万円から、来年度は 400 万円に増額されており、より適切に修繕等に対応できるようになった。新図書館整備の予定があるため、休館を必要とするような大掛かりな改修は控えながらも、適正に維持管理していきたいと考えている。

（意見）新しい図書館ができるまでの期間も５年以上あり、利用する市民も多いため、予算をかけるだけでなく、危険のない範囲でボランティアの協力も得ながら、現在の図書館を市民とともに大切にし、維持していく視点を忘れずに取り組んでほしい。

２．反映状況

維持管理に係る予算を拡大しているため、「③拡大」に分類する。

分類	備考
①廃止	次年度事業費予算に関連するもの
②縮小	
③拡大	
④新規事業の実施	
⑤その他	事業実施手法の見直し　など

進捗状況の報告

【進捗状況】

［図書館］

授乳ブースの設置、多目的トイレへのおむつ台設置は既に完了しており、視覚障害者閲覧用パソコンの更新についても、契約手続き中である。

そのほかの施設修繕については、令和８年５月に発生した空調設備の故障に対応するため、故障部分である冷温水発生機の詳細調査を実施し、応急的な対策として扇風機の増設や遮熱カーテンの設置、また、３階会議室への個別空調設置などの対応を行った。

空調設備の故障については、６月定例月議会で議決いただいた補正予算により、冷温水発生機の故障部分の取替修繕を行い、空調設備の復旧を行う。また、取替作業が完了するまでの今夏の対策としては、４ヶ月間のレンタルエアコンを導入している。

空調設備の早期復旧に努め、四日市市公共施設個別施設計画に基づき適切に維持管理するとともに、利用者の利便性向上に取り組んでいく。

決算常任委員会教育民生分科会長報告（令和８年８月定例月議会）（抜粋）

≪提言チェックシート政策提言（前年度）の取扱いについて≫

現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について

（意見）予算が確保されたことで空調機器の故障に対して迅速な対応ができたことは評価するが、今後も不測の事態に備えて、この提言は継続するべきと考える。

（意見）この提言は新図書館ができるまでの間の予算を確保するための提言であり、継続とすべきである。

（意見）提言により現図書館の維持管理に係る予算の確保ができたことを評価し、終了してもよいのではないか。

提言内容に対し、維持管理に係る予算が確保されたことは評価するが、今回の空調機器の故障にも対応できたことを鑑み、新図書館ができるまでの間の不測の事態に対応できるための予算を維持していく必要があることから、提言の取扱いについては、賛成多数により「継続」とすべきものと決した。

図書館

図書館維持管理費

予算現額　　６３，２５２，２３９円　　決 算 額　６０，５０１，３２９円

（その他特財　　２３７，２６０円
一般財源　　６０，２６４，０６９円）

１　目的

市民、地域に役立つ図書館を目指し、図書館の設備や図書にかかる維持管理を適切に行う。

２　内容（実績）

（１）施設維持管理　　決算額　　２１,０１８,０４４円

・光熱水費、燃料費等
・施設修繕、新設・改良工事

施設修繕、新設・改良工事の主な内訳

1	自家用電気工作物ＬＢＳ取替修繕	９２９，５００円
2	空調設備エアハンドリングユニットフィルター取替	４５２，１００円
3	消防用設備点検に伴う修繕	２６３，３４０円
4	トイレ等給排水設備に係る修繕	１８９，２００円
5	点字録音資料室（作業室）エアコン更新	４７３，０００円
6	その他	１，７９５，１８０円
	計	４，１０２，３２０円

（２）施設総合管理委託等　　決算額　　３７,２３７,１４８円
（３）土地使用料等　　決算額　　２,２４６,１３７円

３　効果

保守点検に基づく修繕や設備の更新を適宜実施したことで、施設機能および利用環境の維持を図ることができた。

４　今後の方針

今後も設備の状況に応じた適切な維持管理に努め、図書資料や施設環境を安定的に提供できるよう適切な管理運営を行う。